

来春完成 ワクワクが詰まった施設

惣領にぎわい拠点施設(仮称)起工式

11月4日、惣領にぎわい拠点施設(仮称)の起工式・安全祈願祭が行われました。

同施設は、惣領交差点周辺に整備されるもので、整備・運営を担う株式会社新時代くまもとにより設計・入居者募集が行われていました(詳しくは2月号に掲載済)。

式には、施工業者や地元区長など約30人が出席し、工事の安全を祈願。新時代くまもとの井戸川寛社長は、「町のシンボルとして、県外からも集客したい」と話しました。

今後整備を進め、来年4月末にオープンする予定です。



⑤式に出席した皆さん ⑦完成イメージ図



練習した「森のダンス」を元気に踊る園児たち

元気に楽しく森を学ぶ

はなえみ保育園で森の教室

馬水のはなえみ保育園で11月9日、オンライン「森の教室」が開催されました。

これは、次世代を担う子どもたちに、森林が持つさまざまな役割や大切さを伝えるため、ファミリーマートの店頭募金を活用し、国土緑化推進機構と県緑化推進委員会が共催する教室で、県内での開催は今年が初めて。同園の3～5歳児66人が参加し、クイズやダンスを楽しみながら森の大切さを学びました。終了後には、ドングリまきも実施。今後、園児たちの手で大切に育てられます。

未来の自分を思い描く

益城中央小・木山中で職業体験

10月14日に益城中央小、11月11日に木山中で職業体験が行われました。

益城中央小では、4年生を対象にJALのお仕事講座が開催され、航空整備士やグランドハンドリングスタッフ、グランドスタッフの仕事について学びました。

木山中では2年生の79人が、「会社経営者」、「農家」、「生活支援コーディネーター」、「JAL グランドスタッフ」、「消防士」の5つから体験したい職業を選び、事前にエントリーシートなどを提出。面接や相談会を経て迎えた体験当日、農家の班は実際に畑に出向き、生活支援コーディネーターの班には地域の福祉を担う人たちも参加。消防士の班でVR(バーチャルリアリティー)水害体験をした生徒は、「思ったよりもリアルで怖かった」と話しました。

1 飛行機の模型に触れながら学ぶ益城中央小の児童

2 防火衣など約20キロの装備一式を着用 3 VR水害体験

